

平成30年度篠ノ井西中学校グランドデザイン

長野市教育の基本理念

明日を拓く深く豊かな人間性の実現
「第二期しなのきプラン」(2018-20)の推進
<3つの重点> ①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③基礎的な体力の育成
<2つの連携> ○学校間の連携
○地域・家庭・事業所との連携
<1つの基盤> ○教職員の力量の向上

学校教育目標

人権を尊び 自らが高いめあてを持って
たくましく生きる生徒の育成をめざす
具体目標

- 一 礼儀正しく、人の気持ちを大切にする生徒 (友愛)
- 二 自ら学び、すすんで発表する生徒 (自主・自立)
- 三 ねばり強く、集中してやりぬく生徒 (自律、誠実)

平成30年度学校運営の3本柱

柱1

「主体的・対話的で深い学び」
の実践による基礎・基本の学力の確かな定着に

- ◇基本的学習習慣の確立
・チャイムスタート、聴くこと、書くことの徹底
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の実践に向けた教科会の充実
・「活用する力」につなげる「関わりや説明」
・「活用する力」の評価の充実
・学力調査の分析・考察と授業改善
・各教科の「学力向上プラン」の作成と実践
- ◇効果的な家庭学習の工夫と指導
・学習オリエンテーション、学習の手引き
・小中合同学力向上研究委員会の取組

柱2

互いを尊重し、支え高め合い
笑顔あふれる集団づくり

- ◇豊かな人権感覚の育成
・日常的な人権教育の推進
・人権を考える日、人権教育旬間の実施
・人権アンケートの実施と対応
- ◇日常の生徒理解と集団作り
・「しなのきアンケート」「アセス」の実施・分析と共通理解
・エンカウンター等の集団づくり活動の推進
- ◇成就感、達成感の共有を目指した行事と諸活動(自尊感情と信頼)
・生徒会の日常活動、クラスマッチ、合唱、銀河祭、清掃、旅行の行事等

柱3

共育を目指した生徒指導と、
生徒理解によるチーム支援

- ◇生徒理解を基盤にした組織的対応
・生徒相談を生かした予防的対応
・支援会議による支援方針と共通理解
・ふれあい教室を軸にした登校支援
・家庭、外部機関との連携
- ◇生徒指導の共通理解と同一歩調
・生徒指導連絡会を基調に日常の連携(学校⇄学年連携による組織的対応)
・月目標「凡事徹底」の全校の取組
・うるおいのある学校環境づくり
・家庭、外部機関との連携

平成30年度指導の重点

重点1 凡事徹底 「あいさつ」「チャイムスタート」「磨く清掃」

学校運営の柱1・2…「信頼づくり」「自律」「他者の尊重」

重点2 学び合い 「聴く」「かく」「伝える」

学校運営の柱1・2…「生徒の自立に向けた学習」(学び考える力・継続する力・表現する力)

重点3 響き合う歌声づくり

学校運営の柱2・3…「成就感・達成感の共有」「誇りづくり」「信頼づくり」

全校研究テーマ 基礎・基本の確かな定着と「活用する力」の向上

～友とかかわり合って高め合い、かかわることのよさを感じられる学習過程の工夫～

「自主自立の精神を培う生徒会活動」「達成感を味わい、信頼を深め、誇りをつくる生徒会活動」

生徒会スローガン「一意専進 ～一人一人が考えかかわる生徒会 自主・挨拶・伝統を磨け～」

◇日常委員会活動の充実 ◇凡事徹底の取組 ◇収集活動 ◇無言清掃 ◇あいさつ ◇人権集会 ◇歌声づくり ◇銀河祭

キャリア教育の推進 生徒の社会的・職業的自立に向けた、全領域を通じた体系的なキャリア教育の推進

西中の礎

教職員の資質向上 ～学び続ける教職員～

- ◇「主体的・対話的で深い学び」への日々の授業改善 ◇PDCAサイクルによる指導改善 ◇ICT活用力の向上
- ◇学校の課題に対応した校内研修会の充実 ◇教職員として使命感と自覚を促す非違行為防止研修

開かれた学校

- ◇学校自己評価 ◇学校評議員会 ◇参観日旬間
- ◇お便り、H.Pによる情報発信
- ◇地域との連携(地域連携教育懇談会、地区懇談会
- あいさつ運動への参加、学社連携人権教育研修会)

安心で信頼される学校

- ◇迅速で誠意ある対応と、共通理解に立った組織的対応
- ◇防災教育の充実 ◇定期的な交通安全指導
- ◇定期的な安全点検と迅速な修繕 ◇警察機関との連携

◇不審者情報等の発信